

『科学を志す人々へ』

石本巳四雄著／講談社学術文庫

本書は、昭和14年に、柘谷書院から“科学への道”として出版され、昭和54年に講談社から復刻されました。

小生が本書と出会ったのは昭和60年で、本学助手に採用されて丁度3年目でした。本書は技術と科学の関係について平易に解説しており、本学の“技術科学（技の実践による智の探求）”に通じるものがあるのでは…ということで購入したことを今でも鮮明に記憶しています。著者は我々の生活に直結する技術とそれを創成する工学並びに科学を有象的と無象的という切り口で所論しており、また、それぞれの技術者・研究者の立場の相違についての論述もあり、四半世紀後の現在読み返しても新たな感銘を受ける本です。さらに、科学と技術の本質だけでなく、それらの創造に関ってきた人物の天才論についても言及されており、当時数理工学的なアプローチで液晶相転移・画像符号化・垂直磁気記録等の研究に日々我武者羅に取り組んでいた小生には、極めて新鮮に映ったことを今でも覚えております。

また、巻末には、故川上正光元学長による解説があり、独創性について先生の研究者としての述懐も含めて述べられており、また、本学の基本理念である“技術科学”の由来についても触れられておられます。

本学において、VOSの精神に根差した技術科学を修得し、21世紀の持続可能な社会の創成を担う学生諸子に、是非ご一読されることをお奨めします。

執筆 者 紹 介

中川 匡弘

電気系教授。専門領域は、カオス工学、フラクタル工学、感性情報・脳機能計測工学、非線形複雑進化系の数理、液晶物理学。

『書名』 著者名(翻訳者名) 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格

『科学を志す人々へ』 石本巳四雄著 講談社学術文庫 1984年 693円

[ブックガイド目次へ](#)